



# 家庭教育サポート企業だより



みんなで  
応援しよう 家庭教育

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

発行 H25. 7. 29 No.32

写真提供：株式会社満寿屋商店

## もくじ

- ◆☆きらり☆～地域で輝く企業〔石狩管内〕  
株式会社菊水・・・・・・・・・・・・・1
- ◆地域発〔後志管内、日高管内〕  
【はじめまして新企業です】  
(株)キラットニセコ・・・・・・・・・・・・・2  
【我が社の子育て環境づくり】  
北海道日高乳業株式会社・・・・・・・・・・・・・2
- ◆家庭教育支援の輪を広げる〔根室管内〕  
根室教育力向上フォーラム・・・・・・・・・・・・・3
- ◆新・情報館〔胆振管内、オホーツク管内〕  
【新たなネットワークづくりに挑む！】  
いぶりサポート11・・・・・・・・・・・・・4  
【知りたい・学びたい・つながりたい】  
地域がつながり、学びが広がる・・・・・・・・・・・・・5
- ◆子育てを学んで！ 楽しく！  
楽しい子育て全国キャンペーン・・・・・・・・・・・・・6

## ☆きらり☆～地域で輝く企業～



### 学校と連携した食育活動を推進

## 株式会社 菊水

昭和24年創業の株式会社菊水は、以前から地元の江別市内の小学校で行われる「小麦追跡学習」をはじめ、子どもの体験キャンプ、小麦に関わるイベントなどに積極的に取り組んできており、平成24年度の協定締結をきっかけに、江別市以外の小学校へも出向き、小麦をテーマとした食育の出前授業を行っています。



新篠津村立新篠津小学校での出前授業



また、560名あまりの従業員の約2割に18歳未満の子どもがいることから、朝礼などをおして従業員に「生活リズムの向上」の意識啓発を行っています。



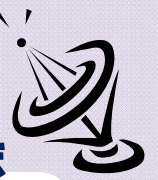
### 株式会社 菊水

- 住所  
江別市工業町19番地6
- 業務内容  
製麺及び関連商品の製造・販売
- 協定締結日  
平成24年9月3日
- 取組内容  
職場見学や職場体験の実施  
地域行事への協力・支援  
生活リズム向上の取組

## 石狩管内

社内で「生活リズムの向上」を意識啓発

# 『地域発』～はじめまして新企業です～



## 企業の持ち味を生かした 家庭教育支援の取組

### (株)キラットニセコ

JRニセコ駅前の日帰り温泉「綺羅乃湯」を経営する、(株)キラットニセコさん。

企業の持ち味を十分に生かし、家族や地域の方々がくつろげる様々な取組を行っています。

#### その1

##### 小学生の職場見学や、中高生の職場体験の受け入れ

お風呂の清掃や接客、地元農産物の販売など、職場見学や職場体験の取組を通して、町内の子どもたちに、働くことの楽しさや意義を伝えています。



「綺羅乃湯」外観

#### 【小貫支配人から】

家庭・地域の交流の場、憩いの場として、これからも様々なイベントを開催し、皆様に喜んでいただける施設を目指していく所存でございます。



#### その2

##### 家族だんらん・憩いの場の提供

町内の小・中学校の運動会や陸上記録会など、学校行事に合わせて、家庭に温泉券を配布し、家族団らんで過ごすことができる場を提供しています。

#### その3

##### 年間を通じた、地域の交流の場の提供

「綺羅乃湯」の駐車場を提供し、町民有志で企画するイベントの開催や、雪像・すべり台の制作など、年間を通じて、地域の方々が交流することができる場を提供しています。

## 後志管内

**温泉** は、家族・地域のくつろぎ、団らん、交流の場



# 『地域発』 我が社の子育て環境づくり

## ★ 北海道日高乳業株式会社 ★



北海道日高乳業株式会社(日高町)は、道産の乳牛から搾った生乳を使って、チーズやバターのほか、様々な飲料を製造・販売しています。また、地域住民を対象にした工場見学や日高町教育委員会が主催する成人向け料理教室の協力など地元との結び付きを重視した取組を行っています。



「子育ての支援対策にも企業を挙げて取り組んでいます。会社独自に行動計画を定めた『次世代育成支援対策』をホームページで公開し、平成25年4月から2か年計画で、社員が働きやすく子育てをしやすい職場の環境づくりに努めています。今年9月末には、子育て世代の社員に子育てに関するアンケートを実施し、社員の声を聞き、より一層子育てしやすい職場環境づくりを進めます。」と笑顔で話してくださいました。



【代表取締役 社長】

櫻井 守 氏

## 日高管内

# 家庭教育支援の輪を広げる

## 根室管内

根室教育力向上フォーラム

# 教育力向上へ意見交換

～子どもたちの確かな学力の育成と健やかな成長のために何ができるか～

学校・家庭・地域が総がかりで未来の根室を拓く子どもを育てるための取組に向けて、行政・学校・保護者・地域のそれぞれの立場の方をパネリストとして迎え、「根室教育力向上フォーラム」（根室教育局主催）が7月14日（日）に中標津町で開催されました。

管内から教育関係者、保護者、家庭教育サポート企業など幅広くおよそ130名の方が参加し、根室の未来を担う子どもたちの育成に向け、学力と体力向上を切り口として、学校、家庭、地域そして関係機関が一体となって取り組んでいくためには、どうしたら良いか活発な意見交換が行われました。

パネルディスカッションでは、なかしべつ青少年体験活動サポートシステム事務局長 青山 隆志氏（株式会社青山商会 代表取締役社長）が地域・企業の立場から意見を述べました。今回は、そのフォーラムの様子をご紹介します。



それぞれの立場から意見交換するパネリスト

### ■パネルディスカッション「教育力向上のための取組」

パネリスト	池田 栄寿（羅臼町教育委員会 教育長）
	谷口 秀文（根室管内小中学校校長会 会長）
	佐藤 樹裕（根室地方PTA連合会 会長）
	青山 隆志（なかしべつ青少年体験活動サポートシステム 事務局長）
	株式会社 青山商会（家庭教育サポート企業）代表取締役
アドバイザー	鶴羽 佳子（北海道教育委員会 委員）
コーディネーター	佐藤 潤一（北海道教育庁根室教育局教育支援課長）



意見を述べる青山氏

### なかしべつ青少年体験活動サポートシステム(ニーズ)の取組

パネルディスカッションにおいて青山氏は、自らが事務局長を務める「なかしべつ青少年体験活動サポートシステム(ニーズ)」の取組を紹介。ニーズは、中標津町の青少年を対象に地域・企業・学校・行政等と連携した職業体験・職場訪問、職業人講話などの事業を展開し、地域の青少年の健全育成に寄与することを目的とした学校支援ボランティア団体として活動している。企業が求める人材として、「基礎学力」「基礎体力」「コミュニケーション能力」の3つの力の必要性を述べ、様々な体験を通じて、自らの活動を振り返り「働くこととはどういうことか」を子どもたちに伝え、地域に残る子どもたちの学力を上げることが地域の発展に繋がると提言した。

また、学校現場、保護者、教育行政のそれぞれの立場から意見が述べられるとともに、会場からの活発な意見も交え、学校・家庭・地域社会が一体となった教育力向上について意見が交わされました。

参加者からは、「それぞれの立場の方から方針や努力を聞くことができ、良い学びの機会となりました」「地域のサポートする力が大切だということを考えさせられました」などの感想が寄せられました。



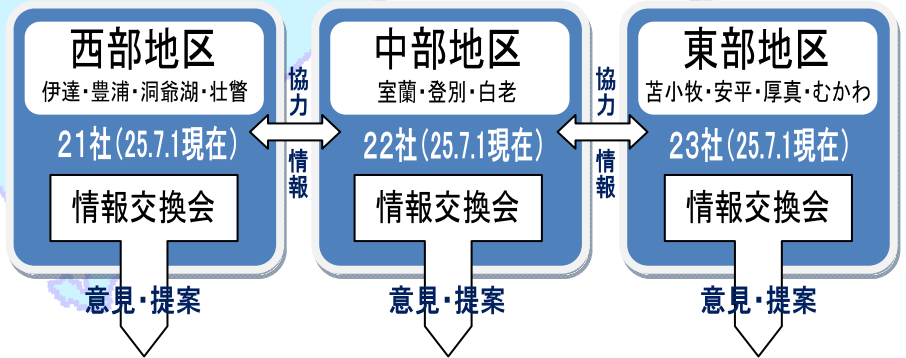
当日、フォーラム参加者には、シマフクロウをモチーフとした根室管内独自の「早寝・早起・朝ごはん+家庭学習」運動缶バッジが配布されました。

# いぶりサポート11 イレブン 胆振管内

## 胆振管内協定締結企業間「情報共有体制」の確立

家庭教育サポート企業だよりNo.30で御紹介したとおり、胆振管内のサポート企業と胆振教育局は、平成25年4月から管内サポート企業のネットワーク組織「いぶりサポート11(イレブン)」を立ち上げ、現在、企業間の情報共有化を進めています。

今年3月、胆振の3地区それぞれにおいて「情報交換会」を実施し、地域の企業による家庭教育支援の必要性について意見を交換。4月からは各企業の取組が常に事務局に集まる体制を整えました。それらの取組の中でも、他の企業で参考となるものについては、事務局で取材に伺い、管内のサポート企業及び教育委員会に対して情報誌による発信を行うなどして、情報の共有化及び取組の普及・啓発に努めています。



事務局(胆振教育局) 運営方針提示・いぶりサポート発行

また、「いぶりサポート11」では、子どもたちの読書習慣の定着を図るため、共同事業「ブックシェアリング事業」を6月からスタートさせ、企業の待合室などに図書コーナーを設ける取組を始めました。現在、管内の図書館などに協力をいただき、本を集めているところです。

「いぶりサポート11」は、今後も地域の家庭教育支援に邁進してまいります。



今年の情報交換会には3地区あわせて20社が参加



企業の取組を事務局が取材 ※(株)丸博野沢組による交通安全指導用信号機の贈呈の様子

胆振管内家庭教育サポート企業「いぶりサポート11」情報誌において企業の取組情報を管内に発信

■■■ 企業の積極的な取組で、学校・地域とのつながりが広がってきました ■■■

## 地域がつながり、学びが広がる オホーツク管内

### ■プロとのセッションで地域の音楽活動を活性化 家庭教育サポート企業「喫茶『ちばしり』」

家庭教育サポート企業である、喫茶『ちばしり』は、毎月、国内の有名アーティストによるライブコンサートを行っています。

店長である篠塚成二氏は、道立網走南ヶ丘高等学校の吹奏楽局と、元カシオペアのドラマー神保彰氏による合奏をプロデュースし、プロミュージシャンとの交流や技術指導の場を提供しました。

篠塚氏は、「子どもたちに一流の音楽を体験できる機会を提供し、学校への支援活動をはじめ、地域の音楽活動を盛り上げていきたい」と、これまでも、地元の中学校等と連携して子どもたちとプロミュージシャンとの音楽交流の場を提供してきました。

今後もプロミュージシャンとのコネクションを生かし、音楽を通じた地域貢献を積極的に行い、地域とのつながりを強めていこうとしています。



### ■『北ほたるの池』池開きに、強力なサポート 家庭教育サポート企業「㈱そうけん」「㈱網走工業」

網走市立西が丘小学校の児童と地域住民が、市内卯原内地区にある「ホタルの里」に『北ほたるの池』をつくりました。この池の制作に関わった家庭教育サポート企業の「㈱そうけん」と「㈱網走工業」の両社が、池開きに参加し、地域貢献に対して表彰を受けました。

「㈱そうけん」は、市民に開放される「ホタルの里」に簡易トイレを毎年無償で貸し出し、「㈱網走工業」は、西が丘小学校の児童にホタルに関する様々な書籍を寄贈しています。

この日、網走西部地区資源保全協議会から、中村信代表取締役（そうけん）と、笠谷俊一代表取締役（網走工業）のお二方へ感謝状が贈られ、その後、西が丘小学校の児童たちと一緒にホタルの幼虫を『北ほたるの池』へ放流しました。

両社は今後も地域貢献として、この池の環境整備を行うとともに、「ホタル」を通じた子どもたちの健全育成に取り組んでいくこととしています。



### ■■ オホーツク教育局で開催します ■■

#### オホーツク学力向上推進フォーラム

主催 北見道教育庁オホーツク教育局

2人の娘さんが東大合格  
自らも東大大学院に進学  
カリスマ教育コーチからの新提案！  
「江藤真規」氏の講演会



【日時】平成 25年 8月 4日 (日)

開場：午後 12時 30分

【場所】北見芸術文化ホール 中ホール

【申込】下記の用紙に必要事項をご記入の上、ファックスあるいは電話で申し込みください。入場料は無料です。

Contents

- バネホリスセッション 13:05~13:50
  - ・学校、家庭、地域が一体となった学力向上の取組をテーマに、専門的見解からご意見を伺います。
- 江藤真規氏 講演 14:00~15:30
  - ・現在、教育コーチングオフィス、サイタコーディネーション代表として、幅広くご活躍されている江藤真規氏をお迎えし、「見えるか育てる家庭内コミュニケーション」についてご講演を頂きます。

Profile

- 江藤真規氏
  - ・東京都生まれ。教育コーチングオフィス、サイタコーディネーション代表、マザー・カレッジ主宰
  - ・お母の本女子大学卒業。2人の娘さんを出産後、アメリカ合衆国に7年間滞在。
  - ・2006年、長女が東京大学法学部第1類合格。2008年、次女が東京大学文学部に第1類合格。
  - ・2人の娘さんとの経験を通して、子育て・キャリアの学びを深め、コーチングの認定資格を取得。
  - ・2010年春、お母さんのための学びの場、「マザー・カレッジ」を設立。
  - ・子どもを伸ばすまで伸ばすメソッド「ペアレンテーション」の開発を実現。
  - ・母親の社会的役割を拓く活動を展開。
  - ・書籍は「アツクの指輪」で東大監修者として「学びのバリエーション」、「お母さんには子どもは育てられない」(待望社)、「お母さんの子育てに悩んでいるお母さんたちへ」(ダイヤモンド)など。

#### 「オホーツク学力向上フォーラム」開催

■日 時 8月4日(日)

■開 場 午後 12:45

■場 所 北見芸術文化ホール

講師にカリスマ教育コーチの 江藤 真規 氏(教育コーチングオフィス サイタコーディネーション代表)をお迎えし、「子どもが成長するために親ができること」をテーマにご講演いただきます。

内容は、家庭内での親子のコミュニケーションの大切さや、子どものやる気の伸ばし方、子どもが「自ら考える」習慣の身に付け方など、家庭における親子の在り方への新提案です。

管内の家庭教育サポート企業等の皆様方にもご案内しておりますが、近隣管内のサポート企業の方々の参加もOKです。

従業員の皆様をはじめ、ご家族やご近所の方々などお誘いいただき、多くの方のご来場をお待ちしております。

# 子育てを もっと 学んで! もっと 楽しく!

## 出前講座を実施しています!

北海道教育委員会では、家庭教育サポート企業の従業員の皆様を対象に子育てや家庭教育に関わる出前講座を実施しています。

子どものしつけや遊び、絵本の読み聞かせなどの大切さをはじめ、望ましい生活習慣の定着や携帯電話等によるネットトラブルの未然防止など、最近、話題になっている教育課題についての情報提供なども行っています。

社内研修などでの活用をお考えの場合は、最寄りの教育局（社会教育指導班）に是非ご相談ください。



## 檜山管内

せたな町 伊関組

における講話

今年6月下旬に、檜山管内せたな町のサポート企業（株）伊関組の「安全衛生大会」で檜山教育局社会教育指導班の吉田昌幸主査が講話を行いました。この大会は、7月の全国安全週間に向けて社員の皆さんの安全意識の高揚を図る目的で毎年開催しているものです。



この講話では、「子どもの生活リズムと親の役割」をテーマに、道内の子どもたちが全国と比べてのゲームやテレビの時間が長いことや、肥満傾向にあることが紹介され、生活リズムがもたらす影響について説明されました。

また、親が働いている姿を子どもに見せること、地域の大人の一人として自覚をもつことの大切さについて述べられました。

## 楽しい子育て全国キャンペーン

### 三行詩募集! ~親子で話そう! 家族のきずな・我が家のルール~

文部科学省と日本PTA全国協議会では、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、家庭でのルールづくり、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことの大切さを社会全体で呼びかけていくため、これらをテーマとする三行詩を募集しています。

#### 《募集対象》

：小学生・中学生の子どもと保護者、教職員等

#### 《募集内容》

家庭での日常のやりとりなどから思いついた、親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや、家庭でのルール、「早寝早起き朝ごはん」といった基本的な生活習慣づくりなど、親子で話し合ったり、一緒に取り組むことの大切さを短文に表現したものであること。

〔三行詩とは、三行程度の短文の意味合いであり、必ずしも三行である必要はなく、俳句のようなものでも構わない。〕

#### 《募集期限》

平成25年9月10日（火曜日）必着

#### 《応募方法》

文部科学省及び日本PTA全国協議会ホームページに掲載する所定の「応募用紙」、あるいは、A4サイズの用紙に、氏名（ふりがな）、年齢（学年）、住所、電話番号、学校名等、三行詩を記入の上、以下の応募先に御応募ください。

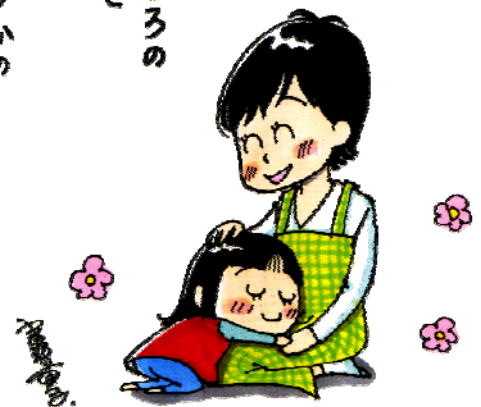
※リーフレット（応募用紙付き）：「三行詩 リーフレット」で検索してください。

#### 《応募先》

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

「文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課家庭教育支援室 三行詩募集係」宛に郵送してください。

ママのひげ  
わたしのニッコロの  
じゅろでんき  
のぐちかの



厚生労働大臣賞（小学生の部）  
埼玉県白岡市  
野口 佳乃（1年生）

◇サポート企業だよりについてのご意見（このような話題も掲載してほしい…）をお寄せください。

【連絡先】北海道教育庁生涯学習課 担当 稲村 電話 011-231-4111（内線 35-517）



kyoiku.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp